

法人名：

公益財団法人 秋田県木材加工推進機構

設立年月日 平成4年9月17日

<b>1 法人の概要</b>													
代表者職氏名	代表理事 秋元 秀樹		基本財産等	442,182千円		県出資等額及び比率	300,000千円 (67.8%)		所管部課名	農林水産部林業木材産業課			
設立目的	木材高度加工研究所の研究成果を木材業界へ円滑に移転するための機関として。秋田県、能代市、秋田県木材産業協同組合連合会等の出捐により平成4年9月17日設立。平成7年4月研究所開所時に、同研究所内に併設。平成25年4月公益財団法人に移行。												
事業概要	①情報収集提供事業 ②技術指導・移転事業 ③啓発研修事業 ④依頼試験等事業												
関連法令、県計画	新秋田元気創造プラン、秋田県林業・木材産業構造改革プログラム												
役員数 (R5.7.1現在)	理事		監事		評議員		計		職員数 (R5.4.1現在)	正職員	出向職員	臨時・嘱託	計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤					
	1	7		1		4	1	12					

<b>2 法人の行動計画(令和4～7年度)</b>									
県関与のあり方	継続	経営状況	安定	取組の方向性	・安定的経営の継続 ・公益的事業の安定実施				
目標	○公益的事業の安定実施に努めるとともに、安定的な経営を継続するため、収益事業(依頼試験)の拡充を図る。 【目標】収益事業等会計の事業収益額(千円) R4年度:7,280、R5年度:7,384、R6年度:7,592、R7年度:7,800								
取組	○以下の公益的事業を着実に実施する。 技術指導・移転事業(企業訪問、技術相談対応、現地指導等) 情報収集提供事業(情報紙発行、ホームページの運用等) 啓発研修事業(講演会、技術研修会の開催等) 【目標】法人の中核業務である技術指導・移転事業の企業訪問:70件 ○収益事業等会計の事業収益額目標を達成するため、企業訪問及びホームページ等による依頼試験のPRを強化するとともに、企業等のニーズに応えられる信頼の高い試験が行えるよう人材のスキルアップを図り、依頼試験件数を確保する。 【目標】依頼試験の目安(件) R4年度:70、R5年度:71、R6年度:73、R7年度:75								

<b>3 財務</b>														
<b>①正味財産増減計算書</b> (単位:千円)					<b>②貸借対照表</b> (単位:千円)					<b>&lt;主な経営指標&gt;</b>				
区分		令和3年度	令和4年度		区分		令和3年度	令和4年度		項目		令和3年度	令和4年度	増減※
経常収益		49,767	45,020		流動資産		19,344	23,856		経常収支比率 (経常収益÷経常費用)		112.4%	104.9%	△7.5
基本財産・特定資産運用益		10,094	10,093		固定資産		628,958	558,564		流動比率 (流動資産÷流動負債)		829.9%	1745.1%	+915.3
受取会費・受取寄附金		5	5		資産計		648,302	582,420		自己資本比率 (純資産計÷負債・純資産計)		99.6%	99.8%	+0.1
受託事業収益		26,417	16,055		流動負債		2,331	1,367		有利子負債比率 (有利子負債÷純資産計)				
自主事業収益		8,428	14,044		短期借入金					※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。				
受取補助金・受取負担金		4,823	4,823		固定負債					<b>&lt;退職給与引当状況(単位:千円)&gt;</b>				
その他の収益					長期借入金					要支給額		引当額	引当率(%)	
経常費用		44,288	42,924		負債計		2,331	1,367		0		0	-	
事業費		42,945	40,352		指定正味財産		509,114	442,182		※要支給職員なし。				
管理費		1,343	2,572		うち基本財産充当額		509,114	442,182						
人件費(事業費分含む)		20,078	20,639		一般正味財産		136,857	138,871						
当期経常増減額		5,479	2,096		うち基本財産充当額									
経常外収益					正味財産計		645,971	581,053						
経常外費用		82	82		負債・正味財産計		648,302	582,420						
当期経常外増減額		△82	△82		<b>③県の財政的関与の状況(事業費補助・委託を除く)</b> (単位:千円)									
当期一般正味財産増減額		5,397	2,014		区分		令和3年度	令和4年度	支出目的等					
当期指定正味財産増減額		12,180	△66,932		年間支出									
当期正味財産増減額合計		17,577	△64,918		年度末残高									

法人名：

公益財団法人 秋田県木材加工推進機構

I 自己評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況		2 経営状況	
【令和4年度実績】 ○収益事業等会計の事業収益額：14,044千円 ○技術指導・移転事業の企業訪問：76件 ○依頼試験件数：63件		【令和4年度実績】 ○基本財産である有価証券の評価額が前年より下がったが取り崩しは行っていない。 ○経常収支は2,096千円の黒字となった。	
【自己評価】 ○企業訪問件数は目標を上回った。訪問により得られた情報・要望等は必要に応じ木高研所内や関係機関へ提供、情報の共有を図った。 ○依頼試験については受託件数が目標を下回ったものの、例年に比べ耐火試験等単価の高い依頼が多かったことにより、収益額は目標を大きく上回った。		【自己評価】 ○基本財産である有価証券のR5.3.31時点での評価額が前年より66,932千円下がったが、証券保有に伴う受取利息額はほぼ前年並みであり、収入面での大きな影響はない。 ○県からの受託額は前年度より減ったが、依頼試験において耐火試験等単価の高い案件が多く収益が増えたことや経費削減に努めた結果、経常収支は4年連続の黒字となった。	
		評価	評価
		A	A

II 所管課評価

1 行動計画における目標及び取組の達成状況		2 経営状況	
○行動計画に掲げた目標のうち、企業訪問件数は達成率109%であり、依頼試験件数は90%と目標を下回ったものの、1件あたりの試験単価が高かったことから、依頼試験の事業収益は計画に対して192%と目標を大きく上回る結果となっている。		○経常ベースで単年度黒字であり、財務3基準も満たしている。基本財産の取り崩しや県からの財政的な支援も受けていないため、経営状況は良好である。	
		評価	評価
		A	A

III 委員会評価

総合評価	法人全体の取組・運営状況に関するコメント
A	○行動計画に定める目標については達成されており、木材高度加工研究所との情報共有や連携が図られているものと判断される。 ○経営状況についても、県からの財政的支援を受けずに黒字決算となっており、安定的経営であると評価される。
【委員からの提言】  ○木材加工技術の向上による県産木材の価値の向上や消費拡大のための取組を積極的に進めていただきたい。	

委員会評価を踏まえた対応方針

法人の対応方針	所管課の対応方針
○引き続き、安定経営を維持するため、顧客ニーズに寄り添った丁寧な事業運営に努めながら事業量を確保するとともに、コスト削減の取組も継続して実施する。	○木材高度加工研究所と企業の連携的役割を十分に発揮し、研究成果の企業移転や木材加工技術の指導普及・情報提供活動を通して、本県木材産業の振興発展に寄与するよう法人に働きかけていく。